

# 自治連よなご

第54号

平成30年(2018年)3月1日発行

発行 米子市自治連合会

(事務局 米子市企画部ふるさと創生推進局市民自治推進課内) 編集 『自治連よなご』 編集委員会

## 魅力いっぱい! 自治会活動!!

### 町のまとめ役

勝田町西区自治会 会長 八幡 廣子

今回、女性会長として一筆どうでしょうかと声をかけられ、改めて考えてみました。

今期、啓成地区自治連合会には、3名の女性会長が在籍し(姥桜ですが)少しは会が和んでいるようです。引き受けた事情は其々異なりますが、「先人たちが繋いできた自治会が跡切れるのは忍びない思い」は共通しているところです。しかし、世帯数の減少・少子高齢化の加速は思った以上に進んでいます。身近な地域活動ほどより難しくなっているのが現状です。「高齢化率が高いのは、元気で長生きということでもある。」と紙面で読みましたが、当にその通りです。何時起こるか分からない自然災害等、地域で支えるのは女性・男性に関係なく元気な仲

間です。平成30年は色々なことが変わる新しいスタートの年となり、願わくは本当の男女共同参画社会になり、各団体と協力し、笑顔で過ごせる地域になりますように。



### わが町守る女性防災クラブ

上後藤二区自治会 女性防災クラブ 永嶋 育子

わが町上後藤二区は、400世帯、1,100名、高齢化率26%の地域です。防災会では平成22年に女性防災クラブを結成し、現在6名で活動しています。平成23年5月の住宅用火災警報器設置義務化に向けて共同購入を実施し、93%の設置率をあげることができました。そして東日本大震災以降、防災についての取り組みとして防災会と一体になり、毎年「災害図上訓練」「緊急避難訓練」を行っています。会員皆さんの積極的な参加により地域の結集力が年々高まっています。又、平成24年8月から災害時要援護者支援に取り組んでいます。これは女性防災クラブ員が3グループに分かれ、民生委員と協力し、一人暮らしのお年寄り・高齢者のお宅を定期的に訪問し声かけをする活動です。身近なお話など女性ならではの視点から、いつでも相談相手になってあげられるように、そしてこの活動を通して緊急時

には避難支援ができ、地域のふれあいの輪が広がり、安心して暮らしていける町づくりを目指しています。



秋の叙勲 旭日単光章 受章 福生西地区 元 温泉二区自治会 会長 山崎 隆之 氏

# 写真で見る地域の活動!!



## 大高地区

毎年8月15日に、地域の絆と先祖供養を深める目的で、スポーツ広場で納涼盆踊り大会を開催しています。多くの方の参加で賑やかな夏の思い出ができました。(8月)



## 和田地区

昔の綿作りを再現した活動を、地域の活性化を目的に始めました。地元の介護施設のお年寄りや子どもたちも参加する、種まきや綿の収穫はとても賑やかです。



## 大篠津地区

とんど行事は、正月明けの日曜日に役員、小学生と父母と一緒に町内を回ります。午後3時過ぎに、海岸でお焚き上げをして、家内安全や一年の無事を祈ります。



## 福米東地区

恒例の餅つき大会を、子ども86名を含む総勢160名で公民館で開催しました。子どもたちも交替で杵を持ち、モチ米90kgをつきあげ盛会でした。(12月)



## 宇田川地区 上淀自治会

上淀に伝わる『八朔行事』は、国の“選択無形民俗文化財”に指定され、豊作を祈願して旧暦八月朔日(ついたち)、今は9月第1日曜に行われています。



## 春日地区 豊田自治会

平成14年8月から始めた子どもの水中生物観察と、平成15年から追加した鮎の掴み取りが人気で毎年50人位の子もたちが参加して賑わっています。

「安心葬儀」“小さな葬儀”から“大きな葬儀”まで

**ぴあべール**

会館葬・自宅葬・寺院葬

(代) ☎ 39-2222

ぴあべール米子  
米子市両三柳103

ぴあべール・はまゆう  
米子市富益町2258-1



**米子中央ゴルフ倶楽部**

〒683-0004 米子市上福原 926-1  
TEL (0859) 35-5566  
FAX (0859) 35-5246



## 啓成地区 富士見町3町区

(富士見町自治会・富士見町一丁目自治会・富士見町二丁目自治会)

米子盆踊りは、約300年前から米子に伝えられた伝統のある踊りです。毎年7月に富士見町3町区の子ども盆踊り大会を行っています。



## 夜見地区

平成27年5月に夜見地区松守り隊を結成し、14人のメンバーで弓ヶ浜海岸の松林を守るため、5月から12月にかけて、清掃、草刈り、植栽などの活動をしています。



## 県地区

新福尾橋の完成を祝い、地域を挙げて盛大に渡り初めを行いました。この橋は通学路でもあり、代表で小学生からのお礼の言葉のあと、風船を飛ばし完成を祝いました。



## 義方地区 米原八区自治会

米原八区では、昭和56年8月吉日に米原子供地蔵を建立し、以来8月に子ども会主催で老人会と共に、地蔵さん祭りを行っています。



## 福米西地区

冬の寒い時期に世代間交流のため、各種の遊びをしたり、トン汁等をみんなで食べ、楽しい一日を過ごしました。(12月)



## 車尾地区

地域福祉の増進を図る車尾まちづくり推進会議が「車尾地区防災訓練」を11月19日(日)に実施しました。当日は、全自治会が要支援者の安否確認、避難訓練等に参加しました。



## 福生東地区 福生東七区自治会

餅つき・芋煮会を兼ねた防災訓練を、子ども会も含めて、賑やかに楽しく開催しました。楽しく過ごすことが、何よりの健康法です。(12月)

# 株式会社 ホクシン

電気・通信・機械設置・空調工事

〒683-0851 鳥取県米子市夜見町3079-17

TEL (0859) 29-6221

FAX (0859) 29-5390



山陰のランドマークホテルとしてより快適・高品質なサービスを提供いたします。

●宴会ご予約  
0859-36-1112

●レストラン

日本料理 雲海  
TEL: 0859-36-1116  
カフェ・イン・ザ・パーク  
TEL: 0859-36-1113  
アトリウムラウンジ  
TEL: 0859-36-1114

ANAクラウンプラザホテル米子  
〒683-0824 鳥取県米子市久米町53番2号  
Tel 0859-36-1111 Fax 0859-36-1115  
www.anacrownmimino.com

## 米子市自治連合会常任委員研修に参加して

米子市自治連合会研修委員長 大櫃 興紀

常任委員会の研修委員として、昨年11月、山口県山口市への視察勉強に参加させていただきました。山口市自治連合会は21地区、世帯数8万8千世帯（米子市6万6千世帯）、人口19万3千人（米子市14万9千人）と、規模は米子市よりかなり大きいです。そのような中で、自治会加入率は80数%（米子市は60%台）、自主防災会の結成率も高いです。その為にはどのような方策がなされているか、関心を抱きながら訪問しました。

山口市の方からは、山口市職員・山口市自治連合会役員が計6名で対応されました。一緒に参加された米子市自治連合会常任委員さんも、しっかりと事前勉強がなされていた効果もあり、質問も活発に行いました。

山口市では、市民と役所の協働による町づくりに取り

組んでおられます。自治会未加入者は集合住宅単身入居者がややもすれば多く、その地域の自治会役員、建物所有者、不動産業者に協力をお願いして、自治会加入促進に取り組んでいることは、米子市自治連合会と同様でした。

山口市は面積（米子市の7.7倍）も広く、災害に遭遇する地域と、そうではない地域とはばらつきがあり、自主防災会の組織化の今後の課題でもあるそうです。

米子市の自主防災会の組織率が低いのは、幸いに大きな災害に遭遇しないことも一因ではないでしょうか。同じ地域に住む人達が連携して、日頃から災害に対しての備え、万が一の協力態勢等の心構えが必要であると思われました。



## 原子力防災訓練に参加して

夜見地区自治連合会 会長 松本 眞

平成29年11月19日（日）、鳥取県や米子市などが主催する原子力防災訓練に参加しました。地区住民に参加を呼びかけようと、6月から自治会で4回にわたり事前の検討会を開き、10月には鳥取県原子力防災講座を受講して訓練に備えました。

当日は、8時30分に島根原発で事故が起きたという想定で、緊急避難を呼びかける防災行政無線や緊急速報メールが流れ、パトカーや消防車が巡回するなかで避難訓練が始まりました。

住民112人が、避難に適した服装にカップとマスクを着用して、決められた時間までに自宅を出て、一時集結所（夜見公民館・弓ヶ浜小学校）に集合しました。そして点呼を受けたあと、避難訓練の概要と安定ヨウ素剤服用の説明を聞いて一時待機しました。

目に見えない、聞こえない、感じない、味も臭いもない放射線の恐ろしさを改めて感じて緊張が走りました。

そのあと、バス、JR、陸自高機動車で避難退避時検査会場に指定されているイオンモール日吉津へ移動しました。

到着するとすぐに物々しい空気の中、乗ってきたバスや住民の被ばく状況の検査や除染等が実施されました。

全ての訓練が終わり、再び一時集結所までバスで帰り、12時過ぎに解散となりました。

一連の大掛かりな訓練に参加して、東日本大震災に伴う原発事故を思い起こし、決して二度と原発事故が起きないよう願うばかりでした。



### 編集後記

この度の54号は、主に「活躍する女性」と「地域の活動」について紹介しています。

男女共同参画社会の今日、自治会長をはじめとして、地域の活動にもリーダーシップを発揮していただけるような女性がどんどん増えれば、地域が活性化するのではないかと期待しています。

また、各地域（自治会）では少子高齢化の中で「伝統行事の継承」「世代間交流」など様々な活動を実施されていますが、このような地道な活動の中に、若者の回帰や地域活性化のヒントが隠されているように思います。

この「自治連よなご」をご覧いただくことによって、自分達の自治会活動の自己点検・評価につながれば幸いです。

最後になりましたが、記事をお寄せいただいた皆様にお礼と感謝を申し上げます。同時に、記事に関するご要望もあればお寄せください。今後とも皆様のご支援・ご協力をお願いいたします。